

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	えみのさと			
○保護者評価実施期間	2025年 10 月 1 日 ～ 2025年 10 月 31 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	2025年 10 月 15 日 ～ 2025年 10 月 31 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11 月 9 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域の方々や関係機関との連携を大切にし、社会体験や地域交流の機会を積極的に取り入れています。	地域活動の把握や近隣の方とのコミュニケーションを通じて、児童が通いやすい。また、社会の一員としての意識や他者への思いやりを育てる取り組みを行いました。	今後も地域交流の機会を継続し、子どもたちが社会参加できることを実践し、地域の中で共存できるように取り組んでいきたい。
2	子どもの成長を継続的に見守る体制を整えています。	他事業所と連携を図りながら、成長過程に添った支援体制を整えています。	他事業所の児童と交流を行っている。また、職員間の連携をも図っている。
3	発達に応じた課題等の提供を行い、個別に対応を行っている	出来た時、頑張った時には必ず『褒める』事を意識。また、楽しい・嬉しい・悲しい気持ちを子供たちと共感していくことを心掛けている。	『褒める』事を増やしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建屋が2階建てであり、1・2階を用途によって使い分けしているが、1階と2階に分かれてしまうとときに職員数が足りないと感じる事がある	その日の児童の体調や気分によって、移動したがるなどの課題がある。	出来る限り集団で同一階で過ごせるように工夫したい
2	専門職員の配置が難しい。	言語聴覚士・作業療法士・臨床心理士等の専門職員の確保が難しい	求人を検討
3	専門知識や支援方法の研修が必要	研修や受講するには、時間や職員配置の余裕がないと出来ない。	隙間時間での研修受講を工夫したい

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 えみのさと

公表日 2026年 1月 9日

利用児童数

20名

回収数

17

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	0	0	2		相談等があれば、場所を移動して、ゆっくり話せる空間がある。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1	0	5		分りにくいとの意見が多いので、再度会報誌で説明していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	0	0	4		視覚的に分かりやすい支援を心掛けていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	0	0	2		丁寧な清掃ができるように、気を付けていく。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	2	0	0		今後も適切な支援を実施していく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	2		今後も継続し実施していく。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	0	0	0		今後も継続していく。
	8	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	0	0	0		今後も継続していく。
	9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	16	1	0	0		職員間での共有を徹底していく。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1	0	1		今後も継続していく。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	2	1	3		今後も様々な活動をしつつ、保護者へのお知らせも行っていく。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	2	0	0		今後も継続していく。
	13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	1	0	0		今後も継続していく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1	2	2		今後も継続していく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていていると思いますか。	17	0	0	0		日頃から保護者と職員間でも情報を共有していく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	0	0	0		今後も継続していく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1	0	0		今後も継続していく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	5	6		父母会は無いが、今回は創立記念イベントへの参加を実施した。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	0	0	1		迅速な対応を務めていく。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1	0	2		わかりやすい情報伝達を心掛けていく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1	0	0		今後も継続していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	1		今後も気を付けていく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	0	1		今後も実施していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	0	0	0		今後も継続し実施していく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	0	0	1		今後も継続し行っていく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	0	0	1		今後も継続し行っていく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0	行く回数が減りましたが、たまに行くとホッと、気持ちが休まっているのが分かります。	今後も継続し行っていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	0	0	0		今後も継続し行っていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	0	0	0		今後も継続し行っていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
えみのさと		2026年 1月 9日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	仕切りや机を移動。または、1階・2階での活動している。	今後も継続していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	適切に配置されている。	送迎に出ている時でも、余裕をもって対応できるように配置していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	玄関にはスロープがあり、階段には手すりやすべり止めが付けてある。	必要に応じて改善していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	日々の掃除を行っているが、行き届いていない所がみられる。	清潔な状態が保てるように心掛けていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	机に置く仕切りを使用している。	今後も継続していく。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	年2回面談を実施している。	今後も継続していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	ミーティングにて意見交換を行っている。	今後も継続していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	年2回面談と、日頃から相談していい環境作りを心掛けている。	今後も継続していく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	過去に実施し、業務改善に努めた。	今後、検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	勉強会を実施。外部研修への参加を促している。	今後も継続していく。
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	適切な支援プログラムの作成に努めていく。	今後も継続していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	5	0	6ヶ月ごとに保護者と面談や職員からのモニタリング等を行い、ニーズや課題の分析を行い、見直しを行っている。	今後も継続していく。
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	日々のミーティングに取り入れ職員間で共通理解が持てる様行っている。また、支援計画の分析を行っている	今後も継続していきます。
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	職員回覧にて全職員が目を通せる様にしている。また、日々の振り返り等で確認している。	今のところ職員間での情報共有は出来ている。また最善な方法を日々検討していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	口頭やモニタリングシートで確認している。	必要に応じて、最善な方法を検討していく。
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	具体的な支援内容の設定を心掛けている。	今後も継続していく。

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	職員間で意見を出し合う場面を設けている。	今後も継続していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	月間スケジュールを作成している。メンバーにより内容の見直しはしている。	今後も継続していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	5	0	状況やメンバー構成に合わせて、活動を提供している。	今後も継続していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	事前に役割分担をしているが、臨機応変に協力している。	今後も継続していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	1日の終わりにミーティングを行い、管理者に報告し職員間で共有している。	今後も継続していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	記録を活用し、活動や支援の統一や見直しを行っている。	今後も継続していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	年2回以上のモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	適切な支援ができるように、職員に聞きとりを継続していく。
	24	<u>【放デイのみ】</u> 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	5	0	組み合わせで支援を行っている。	今後も継続していく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	<u>【放デイのみ】</u> こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	児童の意見を聞いたり、選択させることで自己決定を促している。	職員全員で徹底していく。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	管理者の参加が多い。	今後は職員の参加も促していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	外部との連携を行っている。	今後も継続していく。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0	過去に助言を受け、業務改善に努めている。	必要に応じて検討していく。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	地域行事に積極的な参加の継続を行っている。	今後も継続していく。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	連絡帳や送迎時に伝えている。必要に応じて電話連絡を行っている。	日頃から共通理解が出来る様、心掛けていく。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	随時相談にのっているが、研修は行っていない。	必要に応じて、検討していく。
	32	<u>【児発事業所・児発センターのみ】</u> 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	<u>【児発事業所・児発センターのみ】</u> 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	<u>【児発センターのみ】</u> 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	<u>【児発センターのみ】</u> 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36	<u>【児発センターのみ】</u> (自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37	<u>【放デイのみ】</u> 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		下校時間は保護者の意向に沿って迎えに行くが、必要に応じて学校との連絡調整を行っている。	今後も継続していく。

	38	<a href="#">【放デイのみ】</a> 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	会議を実施し、情報提供を行っている。	可能な限り情報提供を行っていく。
	39	<a href="#">【放デイのみ】</a> 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	会議を実施し、情報提供を行っている。	可能な限り情報提供を行っていく。
	40	<a href="#">【放デイのみ】</a> （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	0	会議があれば参加している	機会があれば参加していく。
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約の際契約書をもとに必ず行っている。	今後も継続していく。
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	面談を行い自宅等の様子やご家族の意見交換や放デイでの様子等、情報の共有を行っている。	今後も継続していく。
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	同意の上署名を頂いている。	今後も継続していきます。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	面談を行い家庭での困りごとの聞き取りを行っている。急な対応にも出来る限り応じている	今後も継続していく。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	保護者会の実施は出来ていないが、周年行事やイベントを通じて交流の機会を設けている。	要望があれば実施していく。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	迅速に対応できる様に努めている。	今後も気を付けていく。
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	毎月の会報誌やHP等でブログを掲載している。	今後も継続していく。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	同意の上、署名を頂いている。	今後も継続していく。
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	職員研修にて、障害の特性について理解するように努めている。	今後も継続していく。
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	地域の方を招待しイベントを行った。	継続して機会を設けていく。
非常時等の対応	51	<a href="#">【放デイのみ】</a> 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	適切な助言が出来る様に心掛けている。	今後も継続していく。
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	避難訓練を実施し、マニュアルの共有を行っている。	今後も継続していく。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	計画をもとに定期的に避難訓練実施している。	今後も継続していく。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	服薬に変更がある場合は連絡を頂くように伝えてある。てんかん発作の対応は、職員間で共有している。	今後も気を付けていく。
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		医師と保護者からの指示に従って、対応している。	今後も気を付けていく。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	必要に応じて、改善に努めている。	今後も気を付けていく。
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	必要に応じ保護者と連携しながら行っている。	今後も継続していく。

	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	都度報告書を作成し、ミーティングで検討・共有している。	今後も継続していく。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	ミーティングや外部研修に参加している。	今後も継続していく。
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	個別支援計画に記載し、保護者への説明を行っている。	今後も継続していきます。